

困難を乗り越え前に進む一年に

長島町議会議長 林義明

あけましておめでとうございます。

町民の皆さまにおかれましては、輝かしい新春を健やかに迎えのとと、心からお喜び申し上げます。また、旧年中は町議会の運営に深いご理解と多大なるご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

去年は、世界中に猛威をふるった新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、町内はもとより日本全国で自粛ムードが漂い、多くのイベント・行事が規模縮小あるいは中止せざるをえない状況となりました。本町においても主要なイベントが軒並み中止となり、町の観光振興、特に飲食店などには経済的打撃を与えました。新型コロナウイルス対策費用として国の補正予算で、地方創生臨時交付

金などが交付され、教育関連など一部の事業が前倒しして実施されましたが、いまだ収束の目処はたっており、今後の経済対策に予断を許さぬ状況が続いています。

加えて、7月豪雨では本町を含む県北部や熊本県南部を中心に大雨特別警報が発令され甚大な被害が発生しました。特に獅子島地区では、大規模な地すべりが発生し林道が寸断されるなど、現在も復旧作業に追われています。

このような中、町政においては、11月に新しい鷹巣診療所が開設し、地域医療の安心と安全を担う拠点として整備されました。6月からは、役場鷹巣庁舎の改修工事が始まり、4月からの本所支所方式開始に向けて作業が

進められています。鷹巣地区の総合運動公園も着実に整備が進められ、一部供用が始まっています。膨大に膨れ上がる歳入歳出予算は一時140億円超となりましたが、ここ数年続いていた大型事業も着実に実を結び、厳しい財政事情を乗り越えてきております。

また、去年は長島版総合戦略の見直しとされ、第1期での成功と反省を生かした第2期長島版総合戦略と長島人口ビジョンが策定されました。これまでの1期5年間の実績を踏まえ、継続する事業、縮小または中止すべき事業を入念に見直し、数十年後の「長島大陸」を維持する内容となっております。

町民の代表である町議会としましては、執行機関である町と互いに切磋

琢磨しながら、主役は町民の皆さまであることを第一に考え、さまざま困難を乗り越え確実に前に進む一年となりますよう今後も鋭意努力して参ります。

最後に、町民の皆さまの一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。また、本年が皆さま一人ひとりにとって、実り多き素晴らしい一年となりますよう、心よりお祈り申し上げます。

